

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

2022 No.562

Network 10 / 1

Now

JART 情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた ワクチン接種・検体採取の担い手を確保する ための対応の在り方等に関する検討会」 開催される

2022年8月23日(火)および8月31日(水)、厚生労働省において「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会」が開催されました。この検討会は、今般の新型コロナウイルス感染症に対する対応を踏まえ、各医療関係職種が普段実施している業務や専門性を勘案して、ワクチン接種などの担い手を確保するための対応の在り方について検討を行うものです。

8月23日の検討会では、日本診療放射線技師会を含めた9職能団体から、人体への注射・採血、薬剤に係る副反応への対処、臨床現場での薬剤の取り扱い、鼻腔や咽頭周囲の治療について、①教育課程の中で基本的な教育を受けているか②普段の業務の中で実施しているか——に関して、資料を基にヒアリングが行われました。8月31日の検討会では、「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会報告書(案)」について議論され、9月2日(金)に最終の報告書がまとまりました。

この報告書では、「医師や看護師等以外の者が感染症発生

時等におけるワクチン接種等を行うことの是非については、医療安全の観点から踏まえると、これらの行為に関して、基本的な教育を受けており、かつ、実際にこの業務を行う上での技術的基盤を有していることが重要であり、具体的には、ワクチン接種のための注射については、人体への注射・採血を行っていることが重要である」とされました。診療放射線技師によるワクチン接種のための注射については、「その養成課程において、人体に対する照射又は画像診断装置を用いた検査のための静脈路確保、造影剤等の投与や抜針・止血等に関する基本的な教育を受けており、また、実際に当該業務を行っている」が、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律(令和3年法律第49号)附則第13条及び第15条に規定する研修(告示研修)を行った場合又は、令和6年4月1日後に免許を受けた者を想定」とされました。

今後、法律に規定された医師や看護師の業務独占を解除することの正当性を担保するため、法律の改正により対応することとなります。

診療放射線技師と放射線に関する 中学校教科書掲載写真の取材が行われる

2022年8月17日(水)、埼玉県済生会川口総合病院放射線技術科において、診療放射線技師と放射線に関する教科書掲載写真の取材が行われました。今回の取材は、全国で教科書の発行事業を行っている新興出版社啓林館発行の『中学校理

科教科書 2年』に掲載する準備として行われました。中学理科2年に含まれている「エネルギー領域」を学習する単元で放射線の特集を組まれるとのことで、その中のショートコラムに身近な放射線利用と診療放射線技師の業務が入ること

が予定されているので協力することになりました。

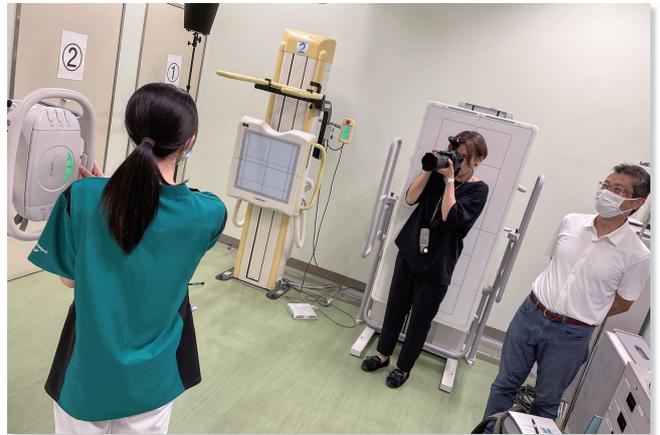
取材当日は、診療放射線技師の最も身近で一般的な業務である胸部X線撮影の装置を含めた撮影の様子が撮影されました。診療放射線技師のモデルとして担当いただいたのは、済生会川口総合病院に本年4月に入職された伊藤涼香技師で、患者さんに安心感を与える雰囲気を出していただきながら、胸部検査を行っているイメージ撮影が進められました。

学習単元はエネルギー領域についてですが、コラムの内容は、放射線を用いた検査が医療で利用されて人々の健康を守ることに役立っており、その医療放射線を取り扱う専門家として診療放射線技師が紹介される流れになると伺っています。X線画像の簡単な説明に併せて、患者さんに接する診療放射線技師の気遣いや心構えも掲載されるとのことで、診療放射線技師の職業紹介に近い内容が本科となる教科書内に掲載されることになるそうです。

同時に掲載される医療画像についても、掲載に問題のないことを確認した画像を提供いただくことができたので、教科書に撮影風景と併せて掲載される予定となっています。

今回の取材内容が掲載されるのは、順調に進めば2023年4月1日からの採用教科書になる予定で進められています。

無事に教科書検定を通過し、より多くの中学校に理科教科書として採用されることを願っています。（文責：江端清和）



日本診療放射線技師会の facebook ページへ
「👍 いいね！」をお願いします！

https://www.facebook.com/jart.or.jp/?ref=pages_you_manage



畦元将吾先生、厚生労働大臣政務官に任命される



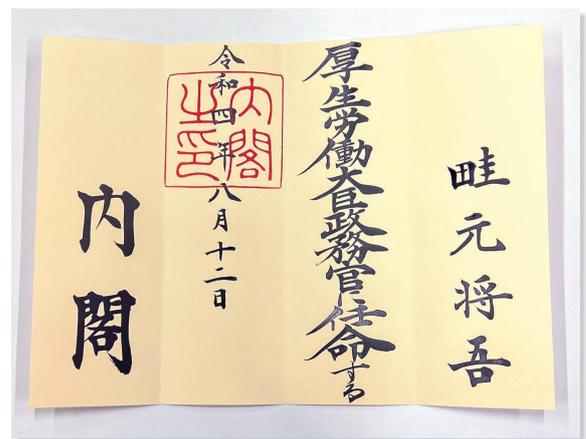
2022年8月12日（金）、診療放射線技師で日本診療放射線技師会顧問である畦元将吾先生が、厚生労働大臣政務官に任命されました。

畦元先生は2019年7月11日、衆議院比例（中国ブロック）で初当選した当初から、現場で働く診療放射線技師や医療従事者の声を正しく伝

え、ひいては患者さんのためになるように、関連団体と連携しながら、常に熱意を持って国政に働き掛けてこられました。その結果、国会議員の先生方への診療放射線技師職の認知度は大きく向上し、関係省庁への連携も強く改善されました。

また政経フォーラムなどの活動や、報告会での経過のフィードバックも精力的に行われてきました。

現在では、党内でも厚生労働部会 副部会長や組織運動本部団体総局 教育・文化・スポーツ関係団体委員会 副委員長をはじめ、さまざまな役職に関われ、多方面でご活躍されています。



本会での活躍としては、2021年9月11日の『岸田文雄先生が診療放射線技師の「声」を聴く』(リモートヒアリング)や、2021年11月24日の岸田首相と上田会長との面談が行われた際のご仲介、2022年3月28日の「診療放射線技師を支援する議員連盟」の発足時にも、畦元先生のご尽力がありました。

今後もますます国民のためにご活躍されますことを期待しております。

2021年度 永年勤続表彰者

2021年度の永年勤続表彰者が発表されました。
おめでとうございます。

50年勤続表彰

秋田県 相模 司	埼玉県 佐々木 正夫	松井 武司	愛知県 神谷 誠一 加藤 隆司 中村 多門次	奈良県 日浦 正昭 河村 吉章	広島県 石井 攝生	福岡県 熊谷 孝三
宮城県 設楽 光男 岩松 良弘	神奈川県 上前 忠幸 西尾 誠示	富山県 富賀見 憲一 喜内 俊光 中屋 清秀 松倉 昭芳 小林 昭雄	岐阜県 田中 孝二 西尾 道保	和歌山県 高須 治夫	鳥取県 佐藤 豊	大分県 眞野 勇夫
福島県 大坊 元二	山梨県 進藤 茂男 石原 正彦	福井県 上野 敏司	京都府 平井 俊三 田城 邦幸	大阪府 小川 利政	香川県 登 唯由	
茨城県 中澤 洋治 山口 直一	石川県 早川 彰一		兵庫県 谷 邦治	高知県 清水 雅明		

計 37人

30年勤続表彰

北海道 山本 悌二 大野 肇 寺田 克広 平沢 明子 大森 恒一 柿本 真一 小島 秀樹 辻野 和徳 阿部 裕子 有田 幸広 菊地 実司 信成 浩司	岩根 敦 櫻田 涉	宮城県 桑 美和子 砂金 芳朋 板垣 典子 石屋 博樹 菅 尚明 伊藤 道明 荒井 剛 星 英樹 児玉 修一 木村 成子 家子 光紀 宇塚 進 佐藤 智昭	新潟県 長谷川 昭博 若月 栄介 大島 吉隆 羽田野 政義 風間 清子	栃木県 上村 勝美 内田 昇 三浦 孝明 遠藤 絵理子 小堀 康子	茨城県 土屋 恭男 水木 一弘 立川 祐治 萩原 祐一	群馬県 茂木 利雄 小林 誠 藤田 京子 須藤 高行 高柳 稔 杉山 和代 池田 慎治 前田 暢子	埼玉県 山下 慎一 竹内 務 藤沢 達二 荒井 一正 市川 篤志 藤田 隆之 藤田 正義 瀧井 和歌子 勝田 昭一 山下 明	千葉県 森 信二 丹野 恭子 高重 光博 桜井 章二 苅込 能宏 青木 治子 丸 繁勸	東京都 関根 明 矢島 真実 布施屋 一広 川口 克己 塩原 孝文 渡部 賢仁 藤田 賢一	山梨県 宮崎 旨俊 望月 亜希子 池長 聰	富山県 松谷 勝明 明石 清美 岩井 正英 笹田 浩二 佐伯 幸弘 清水 明憲 野尻 智子	福井県 村中 良之 山下 浩司	静岡県 天野 守計 加藤 和幸 常葉 勇介 川瀬 俊浩 阪口 充 植田 到 望月 英紀	愛知県 青山 裕一 下林 卓次 山口 征昭 小田 幸政 森 則久 木浦 靖枝 深見 貴弘 坂下 慎一 佐藤 美嘉代 三宅 敏之 宮地 重徳 本多 隆幸 井上 聡	福井県 濱木 隆好 杉本 順一 杉山 仁作	福井県 村中 良之 山下 浩司	石川県 平加 保彦 杉崎 悦子 眞田 茂信 笠松 正夫 大黒 直人 五十嵐 哲郎 武田 紀子 飯田 融 池田 一浩 高島 政美
---	--------------	---	---	---	--	--	---	---	---	---------------------------------------	---	------------------------------	---	--	---------------------------------------	------------------------------	--

- 小林 謙一 尾関 裕一 大槻 道彦 石井 俊之 加藤 修 井形 詠二 高木 昭浩
- 片岡 由美 関谷 正利 中安 直規 酒作 昌明 高橋 勇登 宮島 隆一 佐伯 建彦
- 南 一幸 伊藤 真一 指原 徹也 高橋 涉 喜多 信一郎 羽手村 昌宏
- 恒川 典孝 堀 拓次 ■奈良県 田中 智之 亀山 修 大塚 浩志 橋原 秀一
- 渡辺 薫 片瀨 哲朗 廣瀬 之衛 瀧本 守 ■高知県 田尻 步 池田 成志
- 三田 則宏 野口 晃睦 藤岡 浩欣 瀧上 伸一 梅木 美伸 猪口 聡
- 毛受 孝夫 ■三重県 白山 健一 板山 和幸 中原 雄志 吉行 謙介
- 齋藤 直俊 ■和歌山県 上仲 彰洋 松澤 秀臣 ■佐賀県 郡野 雅浩
- 広藤 喜章 久保 雅敬 西出 泰久 西村 賢二 福岡 陽介 中村 泰正
- 國友 博史 金谷 明典 ■和歌山県 丸橋 哲也 川田 信悦 大島 隆弘 ■宮崎県
- 高橋 絵里子 川野 聡子 和田 圭司 丸橋 哲也 弘松 馨 日高 義時 高崎 勝久
- 畔柳 文代 安本 健一 川上 素之 梅宮 清 山川 尚一 中村 圭子 ■鹿児島県
- 佐藤 眞爾 佐光 宏泰 栢本 修志 ■広島県 林 完治 久保 行広 ■長崎県
- 小田 忠司 川邊 一晶 新田 伸一 ■福岡県 矢ヶ部 義則 伊東 久生 久保 ゆかり
- 小田 哲意 ■滋賀県 明神 敏昭 井川 昭二 ■福岡県 森田 伸二 川西 義浩
- 深見 八束 ■滋賀県 門前 一 大畑 直幸 横山 裕紹 佐藤 洋子 東 健一 三反田 正紀
- 下川 剛 番野 仁司 巽 政仁 田頭 正也 吉中正 則 酒本 司 野中 康博
- 山室 修 木田 哲生 富山 俊治 升谷 敬彦 谷山 正嗣 荒木 隆文 松山 芳郎
- 江川 幸孝 牛尾 哲敏 三木田 正夫 小野 茂樹 牧野 秀昭 深水 武二
- 真野 志保 木村 隆雄 田辺 真也 ■鳥取県 松本 俊和 堂之上 勝洋 猪俣 昌弘 山口 雅晴
- 倉橋 徹 井関 忠弘 ■大阪府 山根 晴一 梶嶋 哲雄 森川 信之 ■沖縄県
- 中村 伸幸 田邊 啓太 松尾 雅基 池嶋 道夫 上杉 益三 清水 裕一 城間 哲
- 江崎 修司 高瀬 伸二 東尾 晴夫 ■島根県 青木 早和 石倉 誠 川涯 智治 青柳 憲二 ■大分県 谷口 剛
- 岐阜県 玉井 勲 ■京都府 塩見 晃 立永 浩一 岩井 正治 石倉 誠 青柳 憲二 ■大分県 谷口 剛
- 野々垣 直美 塩見 晃 立永 浩一 岩井 正治 石倉 誠 青柳 憲二 ■大分県 谷口 剛
- 石田 雄一郎 赤澤 博之 津川 和夫 後藤 宏成 ■兵庫県 川西 啓司 山口 健司 沼田 憲作 吉井 勝
- 大澤 久志 津川 和夫 後藤 宏成 ■兵庫県 川西 啓司 山口 健司 沼田 憲作 吉井 勝
- 今井 信輔 後藤 宏成 ■兵庫県 川西 啓司 山口 健司 沼田 憲作 吉井 勝
- 衣斐 弘光 古川 博路 ■兵庫県 川西 啓司 山口 健司 沼田 憲作 吉井 勝
- 水谷 雄治 池 和秀 ■兵庫県 川西 啓司 山口 健司 沼田 憲作 吉井 勝
- 長野 達也 久保田 裕一 大澤 啓次 川田 明 ■愛媛県 福田 比佳志
- 今井 仁志 大澤 啓次 川田 明 ■愛媛県 福田 比佳志
- 檜山 征也 川田 明 ■愛媛県 福田 比佳志
- 丹羽 豊志 古和田 健 ■愛媛県 福田 比佳志

計 377人

厚生労働省研究班：研究報告のご紹介 「医療専門職の実態把握に関する研究」

東京医療保健大学の小野孝二教授が代表を務める厚生労働省研究班がこのほど、診療放射線技師など医療関係5職種の需要と供給の将来推計をまとめました。

国家試験の合格率やレセプト請求件数の実績などを基に推計したところ、診療放射線技師数（供給）は養成数の増加に伴い増加していくと考えられる一方、画像検査の件数（需要）は人口減少の影響で2030年をピークに減少に転じ、将来的には供給が過剰になることを示した結果で、研究班では、タスク・シフト/シェアによる業務拡大を考える資料にしてほしいとしています。

この結果報告は、厚生労働科学研究成果データベース（以下URL）で公開されておりますので、詳しい内容をご覧ください。

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/158821>



INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習 「一般撮影」北関東地域(埼玉県) 開催報告

埼玉県教育委員 城處 洋輔

2022年8月28日(日)、日本診療放射線技師会が主催する基礎技術講習会「一般撮影」が、埼玉県のソニックシティで開催されました。参加者は33人であり、県外からの参加も多く、若手のみならず幅広い年齢層の参加が見られました。

講習の内容としては、日本診療放射線技師会の教育目標に沿って、装置の基礎的な内容から部位ごとの臨床技術、検査における注意点や検像まで網羅され、包括的に学習することができました。県内においては久しぶりの会場開催であり、講義終了後の質疑や、参加者同士による施設間の情報交換が活発に行われていました。以下は当日のプログラムです。



休日にもかかわらずご参加いただいた受講生の皆さま、また講師・会場スタッフの皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。

■ プログラム

時間	科目	講師
9:25~10:10	診断用X線装置・画像処理装置	土田 拓治 (埼玉県済生会川口総合病院)
10:10~10:55	撮影-1 胸部・ポータブル撮影	滝口 泰徳 (JCHO 船橋中央病院)
11:00~11:45	撮影-2 腹部・骨盤	仲西 一真 (上尾中央総合病院)
12:30~13:15	撮影-3 泌尿器・生殖器系 (造影を含む)	池田 圭介 (埼玉県済生会川口総合病院)
13:15~14:00	撮影-4 頭頸部・甲状腺	菊原 喜高 (昭和大学附属烏山病院)
14:05~14:35	撮影-5 歯科・顎骨・口腔	石田 秀樹 (昭和大学江東豊洲病院)
14:35~15:35	撮影-6 脊柱・関節・上下肢・軟部	高橋 利聡 (獨協医科大学埼玉医療センター)
15:40~16:25	注意点および検像	土田 拓治 (埼玉県済生会川口総合病院)
16:30~17:00	確認テスト	

(敬称略)

本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちらから」をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL: 03-4226-2211 E-mail: info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

告示研修 開催報告

富山県

公益社団法人富山県診療放射線技師会 副会長 伊藤 貞則

2022（令和4）年度として第1回・第2回の告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）を、8月6日（土）・7日（日）に富山県民会館で開催しました。参加者は第1回が28人、第2回が25人でした。新型コロナウイルスの感染状況の悪化もあり、ファシリテーターの1人に新型コロナウイルス濃厚接触者の認定が出たり、開催日前日には天災の影響で実技研修の物品が予定通り配送されなかったりとトラブルが続きました。しかし、講師・ファシリテーター・スタッフ各位の協力により無事開催することができました。

開催当日は、感染対策に十分配慮し講義研修での指定の席とし十分な距離で配置した。また実技研修では6グループに部屋を分けて、可能な限りグループ外の受講者とは接触を避けられるように対応しました。

前日の準備から事後処理まで、講師・ファシリテーター・スタッフ各位には感染状況悪化の中、万全の準備でご対応いただき深く感謝申し上げます。開催責任者を担当した立場で



集合写真（講師・ファシリテーター・スタッフ）



動脈路確保の実習風景



静脈路確保の実習風景

感じたことは、ファシリテーターの養成が必須であることです。富山県の会員数の規模では少なくとも10人程度のファシリテーターは必要と感じます。特定の方の負担にならないような仕組みを構築することで、本研修会を継続して開催することができるのではないかと感じました。

最後に、いろいろと開催にご協力いただきましたJART理事・事務局スタッフに、この場をお借りして感謝申し上げます。

京都府

公益社団法人京都府放射線技師会 学術理事 中川 政幸

告示研修京都初開催は当初、2022年3月12日・13日を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、8月21日（日）に延期し、遅ればせながら履行することができました。47人の登録に対して、事前キャンセルが2人、当日欠席連絡が1人で、最終的に44人の参加がありました。

開催会場は京都市立医科大学の看護学科学舎を使用したので、設備や環境に優れており、準備や撤収作業も行きやすく、開催側の負担が軽減されたと思います。研修タイムスケジュールは検討を行い作成しましたが、実際に運用してみると課題も見えてきました。動画視聴開始時刻、午後の開始時





刻、実技研修のそれぞれの時間配分と休憩時間の関係など、改善の必要があることも分かったので、次回の11月開催に向けて改定したいと考えます。

研修を担当するファシリテーターは、その養成講座が昨年11月だったため、指導に不安が残ると思われ、開催前月の7月に大阪・滋賀の告示研修に復習研修として参加させていただきました。さまざまな経験談や工夫事項を伺い、再度学習した上で初回を迎えたため、ある程度の自信を持って取り組むことができました。そのおかげで大きなトラブルもなく、スムーズに開催できたと思います。大阪・滋賀の関係スタッフの方々にはとても感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。

愛知県

公益社団法人愛知県診療放射線技師会 副会長 鈴木 正広

2022年8月27日(土)・28日(日)、JA愛知厚生連安城更生病院において、本年度第5回、第6回の告示研修を開催しましたので報告致します。愛知県では、新型コロナウイルスの感染者数が連日1万人を超える状況の中での開催となり、前回(7月23日・24日)の開催以上に感染対策を行っての開催となりました。

受講者数は、8月27日が45人、28日が44人であり、新型コロナウイルス感染症に関連する理由で、当日になっての欠席者もおられました。愛知県では、本研修会の受講希望者が非常に多い状況が続いており、優先申し込みの開始後数十分で定員となってしま



います。まだしばらくはこのような状況は続くことが想定されるため、本年度は12回の開催を計画しているところです。

両日も午前8時10分より受付を開始し、予定通り午前9時より研修が始まりました。午前中は感染対策のため、定員150人の会場に四十数人の受講者ですので、見た目は少し寂しい研修風景でした。午後からの実技研修は余裕を持って広めの会場を使用して行ったため、密な状態になることもなく終えることができました。

今回の告示研修自体においても、大きな問題もなく無事終了することができました。開催を重ねることで開催スタッフやファシリテーターも余裕が持てるようになり、運営はとてもスムーズになり、最後の片付け・備品配送手続き、そして解散までの時間が早くなりました。重ねて、講師の医師・看護師の皆さまのご指導・ご協力により、より良い研修会となりましたこと、感謝申し上げます。

今後も診療放射線技師の皆さまが全員受講していただけるよう続けてまいります。毎回の申し込みが、申し込み開始数十分で定員になるくらい盛況であればと願っております。

三重県

一般社団法人三重県診療放射線技師会 会長 界外 忠之

2022年8月27日(土)・28日(日)、鈴鹿医療科学大学で第3回・第4回告示研修を開催しました。

新型コロナウイルスの感染爆発状況の中、感染対策の徹底と終了後に受講者から陽性者が出ることを想定した上での開催となりました。

皆さまに報告したいのは、何といっても運営スタッフのコミュニケーションの良さと熱意です。開催前にはメーリングリストやWeb会議で何度も意見交換を行い、直前には会場で医師講師を含めた実際の手技や説明手順、担当ファシリテーター

の役割確認を行いました。

ファシリテーター自身が研修を受けた時の経験から、「私服では受講者の区別がつかず質問がしづらい」とのことからユニホームをそろえることとしました。真っ赤なポロシャツは、「模擬血液が付いても目立たないから」との理由だそうですが、私には「必ずこのミッションをやり遂げるんだ」という燃えるような熱意の赤に見え、とても頼もしく映りました。

三重県の告示研修は、常に受講者の目線に立って進化していきます。



相手の立場に

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

実習生教育の一つに、患者さんの立場になって装置の動作を体験させることがあります。例えばCTの寝台に寝かせて、寝台の上下移動やガントリーに入る時の動きから、患者さんが何を考えるかを感じたり、寝台移動スピードの調整やガントリーに入る際の一声掛けるタイミングなど、どうすれば患者さんが安心するかを考えてもらいます。また一般撮影の撮影台に寝てみると、ポジショニングの際に動かす撮影台速度、X線管球を見上げた時のコリメーターの汚れ、撮影室の整理整頓など、患者さんの立場になってみると、いろいろ気付くことがあります。業務以外でも、相手がいる状況なら常に考えなければならないことだと思っています。

- 自分が相手だったならば、どのようなことを受け止め、感じているだろうか？
- そしてそのことからどのような意識を持つだろうか？
- どのような感情が出るだろうか？

相手の立場になって考えることは、職場組織などあらゆる面でも必要になります。組織というのは自分一人ではなく、複数人のスタッフがいることによって成立します。全員が同じ価値観を共有し、同じ能力を持ち、同じ方向に進んで行けるのであれば何事もスムーズに進められますが、組織にいるメンバーは一人一人、役職や持っている能力、仕事に対する意気込みなど、立場がそれぞれ異なります。相手の立場になって物事を考え、コミュニケーションを取っていくことが信頼関係を構築する上で重要となります。自分と異なる意見を持つメンバーに対しては、相手の立場に立って考えられるようになることで、相手からも理解してもらえという信頼を得やすくなります。カッと感情的になりそうな時は、アンガーマネジメントを思い出してコントロールしたいと考えています。

(文責：大内 幸敏)



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール
[ハイブリッド開催]
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦
[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会
熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる

技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

INFORMATION

10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

- 放射線取扱主任者定期講習：東京 2022年10月21日(金)
- 超音波実技講習会：東京 第2回「腹部領域」：2022年11月5日(土)
第3回「血管領域」：2022年11月6日(日)
- 医療放射線安全管理責任者講習会：東京 2022年11月12日(土)・13日(日)
- 画像等手術支援認定講習会：Web開催 2022年11月23日(水・祝)
- 消化管造影セミナー：Web開催 2022年11月30日(水)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

- 告示研修（基礎研修） 2021年7月31日(土)午前0時から申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習
・ラダーレベル3 2022年10月11日(火)午前0時から11月30日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※各認定資格試験日前日まで何度でも視聴いただけます（認定資格試験：2023年1月29日(日)）。
- オンラインセミナー（在宅）
・ラダーレベル2（基礎技術コース） 2022年10月17日(月)午前0時から12月20日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2023年1月28日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会（在宅）
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修
- オンラインセミナー（在宅）
・ラダーレベル1、2
・マネジメントラダーレベル3 2022年12月20日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2023年1月28日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- Ai認定講習会
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー
本セミナーは、視聴いただくコンテンツが文部科学省、厚生労働省および経済産業省の定める当該倫理指針の一部改正（令和4年3月10日告示、4月1日施行）に対応していないことが判明したため、**開催を延期**させていただくことと致しました。
会員各位には大変ご迷惑をお掛け致しますが、コンテンツの見直しを行い、準備が整い次第、改めてご案内致しますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)」「告示研修(実技研修)」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/2022_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000081c3.html
- 「告示研修(実技研修)」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2022.html

INFORMATION

JART電子ブックシステムの試験運用の開始について

将来的なJART会誌の電子化を見据え、電子ブックシステムの試験運用を2021年11月7日(日)より開始しております。会員の皆さまには下記URLまたは2次元バーコードより「JART電子ブックシステム」にログインしていただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。

なお、パスワードは3カ月ごとに変更されます。今後、パスワード更新時には会誌でご案内致します。

- ログインURL：<https://www.jartbook.jp/jart/login.html>
- ログインID/パスワード：会誌参照



JART電子ブックシステムのログイン画面

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。